

様式（第8条関係）

審議結果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第32回 益田市行財政改革審議会
開催日時	平成30年11月5日（火） 15:00～17:00
開催場所	益田市役所本館3階第2会議室
出席者及び欠席者	<p>○出席者 [審議会委員] 光延忠彦委員・藤井幸子委員・西村延剛委員・岩本誠委員・大久保稔委員 戸佐間恵子委員・佐々木真理子委員 [事務局] 野村美夜子政策企画課長・和崎幹弘行革推進室長</p> <p>○欠席者 宮田淳久委員・田中文仁委員・齋藤陽亮委員</p>
議題	(1) 行財政改革実施計画（継続改革期間）の進捗管理について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	政策企画局政策企画課行革推進室 電話：0856-31-0121

審議経過

1. 開会
2. あいさつ <会長>光延委員
3. 議題（1）行財政改革実施計画（継続改革期間）の進捗管理について
◆実施計画各項目の進捗状況について 実施項目13について事務局が状況を説明し、評価方法に基づき総合評価の決定と進捗に関するご意見を得る。
実施項目13 行政の見える化と情報公開 [事務局／状況説明] 益田市の行政がより開かれた市政運営を目指すために定めた実施項目である。 具体的な活動項目としては、市長への手紙・市長と語り合う会の実施、財政状況の公表、市HPを重要な情報発信のツールであることを再認識し市民に分かりやすい内容となるように工夫する、審議会などの各種会議については会議内容を市HPに掲載し状況をお知らせするという4項目。 成果・効果額の目標としては、市長と語り合う会の実施回数、財政課のHPアクセス数の推移、市

HP内の各課からの情報を整理・改善した部署の割合、各種審議会等の会議内容報告の掲載率の3項目を掲げ進捗管理を行う。

成果・効果額の目標（4項目）に対しての実績

1、市長と語り合う会の実施回数

平成29年度の数値目標を10回とし、目標どおり10回実施できた。

過年度の状況としては、市長と語り合う会・市長への手紙の合計件数は平成25年度82件、平成26年度68件、平成27年度71件、平成28年度62件であった。

平成29年度は、市長と語り合う会10回・市長への手紙38件で合計48件であった。

市長への手紙の内容としては、市としては建設的なご意見をいただきましたが、最近は職員に関する苦情等がほとんどで、当初の目的での運用はできていない状況。

数値目標達成率100.00%で評価「4」としたい。

2、財政課のホームページアクセス数の推移

平成29年度のアクセス数は4,063件であった。

過年度のアクセス数の状況は、平成25年度2,510件、平成26年度2,614件、平成27年度5,547件、平成28年度4,204件であった。

3、市ホームページ内の各課からの情報を整理・改善した部署の割合

益田市のホームページについては、市民の方から見にくい、古い情報がずっと掲載されている等の苦情を時々いただく。

この春、これについて原課に定期的な見直し、古い情報については整理し市民の方が見やすいホームページになるよう通知した。実際に定期的に見直し整理をしているか確認をしたところ、全体の8%であった。今年初めて状況確認を行ったが低い数値となった。

今後、行革推進室からも定期的に改善を促し、より市民の方に見やすいものになるよう努めたい。

数値目標達成率8.0%で評価「1」としたい。

4、各種審議会等の会議内容報告の掲載率

この行財審についても毎回HPに掲載している。ホームページに会議録を載せる対象会議は34ある。確認したところ、85.3%が掲載されていた。掲載されていないものについては、逐次担当課に行革推進室より掲載するように定期的に促していきたいと考えている。

数値目標達成率85.3%で評価「3」としたい。

以上を踏まえ、活動項目についての評価

1、市長への手紙・市長と語り合う会の実施については、評価を「a」としたい。

2、財政状況の公表については、評価を「b」としたい。

3、市HPを市民にわかりやすい内容となるよう工夫するについては、評価を「c」としたい。

4、各種会議内容を市HPに掲載するについては、評価を「c」としたい。

以上、これらの取組結果と成果として、進捗評価率は58.3%、達成評価率66.7%、総合評点：58.3% + 66.7% = 125.0%となり総合評価は「3」としたい。

委員	実施状況の中で、平成27年度に財政課のホームページのアクセス数が5,547件で前年度2,614件のほぼ倍となっているが、何か特別な理由があったのか。
事務局	この年に何か話題になったことがあったかを即答することは難しいが、この時にホームページの構成が変更され、カウントの手法が変わった可能性があることも理由の一つと推測される。
委員	増えたので、良い方向に変わったということではないか。

事務局	<p>益田市のホームページは見づらいと感じている。一番良くないと感じているのは、情報整理がされていないこと。過去に古い情報が掲載されていた為にトラブルがあったと聞いている。</p> <p>9月末に各課にホームページの整理を行うよう依頼しているところ。9月の議会でもホームページについて指摘を受けた。</p> <p>内容変更がなければ手を入れない状況にあるので、市民の方にどのように見てもらうのが効果的で分かりよいのかを念頭におき、変更が無くても毎年一回は見直すことを促していきたい。</p> <p>これから、点検作業をしたいと考えている。</p>
委員	<p>財政の健全化ということで、財政課のホームページのアクセス数を出していることは良いが、益田市のホームページのアクセス数はどうなっているのか。財政課より市のホームページのアクセス数の方が多いはず。カウントはしていないのか。</p> <p>時々、ホームページを見るが確かに見づらく、探すのに一苦労。</p> <p>ホームページにアクセスするとカウントできる仕組みにできるはずなので、行政側として把握する必要があるので改善したほうが良いと思う。</p>
委員	市ホームページ内の各課からの情報を整理・改善した部署の割合というところで、8%になっているが、パーセントではなく分母としての数字はいくらなのか。
事務局	詳細の数字はすぐにお答えできないが、整備している具体的な課は、都市整備課・政策企画課・子育て支援センター・秘書課の4課に留まっている。
委員	ということは50課ということか。
事務局	<p>課の数が50数課ある。益田市のホームページは、生活基盤別のカテゴリーに分類されており、検索方法としては「分類できがす」「所属できがす」等がある。益田市のホームページの見づらさは、必要な情報が探しにくいことがあると思われる。</p> <p>レイアウト変更するにはかなりの費用がかかる可能性があるので、現時点では情報を見やすいように整備していく方向性を考えている。しかし、実践する課が少ない状況である。</p>
委員	市長と語り合う会は10回実施とあるが、参加人数はどうなのか。
事務局	<p>参加人数が少ない所もある。安田地区は2、30名程であった。大勢の方が参加する状況ではない。地区センター長を通じて声を掛けているので、どうしても自治会の役員の方々が多いように感じるが、中には問題意識を持って自発的に来られている方もおられる。</p> <p>この会には、市長、政策企画局長、総務部長が同行する。</p> <p>広報や告知端末でお知らせしているが、なかなか参加者増にはなっていない。</p>
委員	市長への手紙だが、どのような媒体で届いているのか。
事務局	<p>ほとんどが、紙ベースもしくはホームページからのご意見となっている。基本的にはいただいたご意見にはお返事をさせていただいている。公表の可否を示していただき、公表が可能な場合は氏名を明らかにしてホームページの「市長の部屋」に掲載している。</p> <p>ただ、苦情は当然あるものだが、もっぱらそれが多い状況。いただいたものは全て目を通すが、個人的な中傷や要望ではないものについてお答えしている。</p>
委員	<p>このような制度を引き続き行ってほしい。苦情の中にもその先に建設的なものもあるので丁寧に対応をしていただきたい。</p> <p>審議会の会議内容報告の掲載率についてだが、おそらく平成29年度は34の内5つ掲載がなかったということになる。この5つについて、年度越しで掲載をしたということはあるのか。掲載をしなかったのであればその理由を教えてほしい。</p>
事務局	状況のみの確認で、掲載できていない理由は確把握できていない。次年度以降も経過を確認して説明できるようにしておきたいと思う。
委員	特別な理由なく掲載をしていないのであれば、会議の担当課の認識の薄さを感じる。

委員	ちなみに、パブリックコメントと市長への手紙との関連はあるのか。
事務局	重複はしていない。基本的には市の方針を示す大きな計画の時にパブリックコメントを募る。その際は、ホームページ掲載以外にも紙ベースのものを地区振興センターや支所等に配置し、告知端末でも募集期間等をお知らせするなど広く周知するように努めている。
委員	市長と語り合う会や議会の報告会にも、葉書で案内をされた時は重く受け止め参加したことがあるが、市長も市議会も一緒に語り合うような機会を設けることはできないか。
事務局	<p>一緒に難しいと思う。市長と語り合う会は、為政者としての首長がその年度の市政の方針を皆様に伝えた後にフランクにご意見を聞くというかたちで進めている。</p> <p>議会の報告会というのは、市長と語り合う会の内容と重複することは多いと思うが、基本的には議員の方が議員活動の一環として自らの活動を広く有権者の皆様に周知する場となっている。</p> <p>片や首長としての地元と語り合う会であり、片や議員としての立場で広く有権者と意見交換や報告を行う会である。対角にあるもの同士ではあるが、どちらも市民に向けて行うもので、また地区振興センター単位で行われるので出られる方が同じであることが多いかもしれないが、考え方からすると一緒にできないと思う。</p> <p>今までの議会報告会では、その場でお答えできるものはお答えし、難しいものについては持ち帰り執行部に聞き取りをするというかたちであった。</p> <p>新聞報道にもあったように、今年度は手法を変えて小さなグループでの対話形式で進めている。より議員活動を身近に感じてほしいというのは議員の皆さんのが思っていたと感じている。</p>
委員	総合評点については、原案どおり「3」でよいか。
◎ 総合評点「3」とする。	
事務局	この行財審の評価の結果については議会に報告させていただく。実施計画に基づいた行革評価額を算出し議会に提出する。後日、議会提出資料を委員の皆様にもお届けする予定にしているのでご確認いただきたい。